

## 補助金等外部評価 評価区分について

- 第2回行政改革推進委員会において、補助金等を評価していただく際の評価区分の説明となります。
- 評価は以下の6つの区分から選択してください。

拡充	一部でも拡充に伴う改善をしてほしいもの(予算の増額や対象・規模の拡大を伴うもの、または制度上新たな要素を加えるもの)
現行どおり	現行の補助金等の内容は是認できるものであり、このまま補助を継続してほしいもの(予算の増額や対象・規模の拡大を伴わない運用上の見直しを含む)
手法等の見直し	手法や内容を見直してほしいもの(委託や直営等、補助金等以外の手法に切り替えるもの、または、予算規模の増減を伴う事業内容の抜本的な見直し、再編や統合等、補助金等のあり方を見直すもの)
縮小	一部でも縮小に伴う改善をしてほしいもの(予算の減額や対象・規模の縮減を伴うもの、または補助金等の内容から一部の要素を除くもの)
廃止	行政の役割が終了している等、補助金等を廃止してほしいもの
完了	要綱等に定める終期の到来を持って完了としてほしいもの

- 以下は、評価区分を判断する際の参考にご覧ください。  
まず、①補助金等の現状について分析し、②現状を踏まえたうえで、今後どのように取り組むべきか評価してください。

①補助金等の現状について分析	②現状を踏まえた評価(今後どのように取り組むべきか)
	<b>評価区分</b>
	<b>項目</b> <b>内容・(記入例)</b>
補助金等の方向性や取組内容、今後の取組方針について検討するため現状を分析	
申請件数が少なく、対象者が限定的であることが原因と考えられることから、対象者の範囲を広げ、多くの方に申請してもらう必要がある。 現行の取り組みは是認できるが、目的達成に向け、更に拡充する必要がある。 …など	<b>拡充</b> (記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を拡充 ②事業費の拡充 ③補助金等の要素の追加
現行の方向性や取組内容は是認できるため、所管課で定めている今後の取組方針に沿って、このまま補助金等を継続してほしい。 …など	<b>現行どおり</b> (記入例) ①現行の補助金等を継続していくべき ②運用上の見直しを行い補助金等を継続すべき ③情報発信等による補助金等のPR活動の推進
現行の補助金等の目的や成果は是認できるが、さらに効率的な手法による実施が考えられる。 行政で実施する必要があるが、市ではなく、別の機関で実施することが可能である。 …など	<b>手法等の見直し</b> (記入例) 手法(内容)を見直すべき ①民間への委託(一部委託も含む) ②補助金等を伴わない市民との協働により実施 ③他の公共的な実施主体(広域連合など)での実施を検討 ④ <b>拡充、縮小、廃止のいずれにも該当しない</b> その他の見直し
現状の規模での補助金等の必要性は少ないものと考えられるため、対象範囲や件数を縮小する必要がある。 …など	<b>縮小</b> (記入例) ①補助対象経費や対象者の範囲を縮小 ②事業費の縮減 ③補助金等の要素の部分的廃止
市民ニーズがなくなっている。 民間で実施しているため、行政で実施する必要性がなくなっている。 …など	<b>廃止</b> (記入例) ①市民ニーズ(需要の縮小)や時代変化により、補助金等の必要性がなくなったため、廃止すべき ②民間で同様の取組を実施しているため、廃止すべき ③個人や団体等が自助努力・自己負担することが適当である
市民ニーズが充足されてきている。 市民ニーズを捉え切れていない。 民間の実施主体が増加し、行政で実施する必要性がなくなっている。 …など	<b>完了</b> (記入例) ①市民ニーズが充足したと考えられることから、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき ②民間で同様の取組が浸透してきているため、要綱上の終期の到来を持って完了とすべき